

# 西桂町 議会だより

第23号

平成11年1月27日発行

全世帯へ配付いたします。一部必ずお取り下さい。



1月10日 西桂消防団新春初出式

<b>定例会</b> 平成10年12月	正副議長新年あいさつ・新春議員抱負を語る … 2、3
	地域振興券条例・審査状況 …………… 2
	一般会計補正予算、印鑑条例・審査状況 …………… 4
	町長所信表明 …………… 6、7
	一般質問（3名）…………… 8～13
	地域で活躍する団体を訪ねて（ミニバス）……………14
	ふるさと不思議発見（下暮地の祭りと子供みこし）…15

議会を傍聴  
しましょう



3階の議会事務局で受付  
していただくと、誰でも  
傍聴できます。



議長 石原 滋

新年明けましておめでと  
うございます。町民の皆様  
には輝かしい希望と期待を  
もって新春を迎えられたこ  
ととお喜び申し上げます。

昨年は大手金融機関の破  
綻に見られるように、国内  
の経済不況は国民生活をい  
っそう脅かし、その中で誕  
生しました小渕政権は過去



副議長 渡辺英一郎

明けましておめでと  
うございます。1999年は世  
紀末ですが、平成11年1月  
1日と1が並ぶと、よ  
し一からスタートだと元気が  
わいてきます。一日の計は  
朝にあり一年の計は元旦に

## 新年あけまして おめでとございます

最大規模の景気対策を強力  
に進めてきました。新世紀  
の幕開けがいよいよ間近に  
迫る中、不況からの脱出は  
いよいよ正念場を迎えます。

町においては町長が提唱  
しています活・活西桂建設  
のため、国庫補助を受けて  
の地域振興券の交付事業、  
三ツ峠グリーンセンター整  
備に取り組みます。町民全  
てが幸せを享受でき、町民  
皆様のご期待に応えられる  
よう決意を新たにし、議会  
の役割を果たしてまいりま

あり、心新たに今年こそ良  
い年にしたいものです。  
昨年は金融破綻また毒入  
事件等悪いことが多発しま  
した。歳末助け合い募金に  
も深刻な影響を与え配分  
も苦慮している様です。こ  
の不況が事件を起す最大の  
元凶とも云われています。  
今年4年に一度の地方  
選挙にあたる年、知事選に  
始まり、県議会議員、市町

す。

さて町議会では町民に開  
かれた議会を目標に掲げ、  
議会広報編集委員会を中心  
に議会広報を発行して、町民  
の皆様へ町行政及び議会の  
うごきを、出来るだけ正確  
に伝えることに努めてまい  
りました。今回の議会広報  
が任期末を迎えた私達議会  
議員による最後の発行とな  
ります。

町民の皆様のご多幸ご健  
勝をご祈念申し上げ、新年  
のごあいさつといたします。

村長、市町村議会議員等、  
身近な選挙が行なわれま  
す。選挙は民主主義の原点  
で住民が政治に参加する絶  
好の機会でもあります。進  
んで参加して下さい。  
町当局も町議会も行政の  
スリム化また効率化に真剣  
に取り組む、この暗いムード  
を一掃し希望のもてる町づ  
くりを努力している所です。  
町民の皆様の一層のご支援  
ご協力をお願いいたします。

# 地域振興券は町内の指定商店で使用可能

## 12月定例会・連合審査会

### 地域振興券交付事業特別会計条例制定

総務課説明 施策の目的は、  
子育てを支援し、老齢福祉  
年金等の受給者や低所得者  
の経済的負担を軽減し、個  
人消費の喚起・地域経済の  
活性化を図ることである。  
交付対象者は、平成11年1  
月1日を基準に、15歳以下  
の児童が属する世帯の世帯  
主、年齢65歳以上で個人町  
民税非課税者等であり、交  
付額は2万円で地域振興券  
としてお渡しする。

地域振興券取り扱い事業  
者は、消費者の利便から広  
い地域での指定も考えたが、  
事務量も多く、町内事業者  
での利用が妥当と考える。  
問 交付対象者約1千50  
0人、合計3千万円相当の  
地域振興券を交付する時期  
は、また65歳以上の町民税  
非課税者は何年の所得で判  
断するのか。  
総務課 平成11年4月より  
交付開始予定で、振興券の  
使用期間は6ヶ月である。

65歳以上の町民税非課税者  
の判定は平成9年分の所得  
で判断する。  
問 取り扱い商店を町内と  
すると15歳以下の子供が買  
えるような玩具、文房具、  
スポーツ用品、本等の商品  
を取り扱う商店が町内に少  
ないのではないかと。  
総務課 この条例の主旨が  
個人消費拡大と地域活性化  
のため実施されるので、商  
業振興を第一に考え、町内  
の取り扱い商店を指定する。  
15歳以下と言っても交付さ  
れるのは世帯主であり、商  
品購入上の不都合は家庭内  
での調整に期待したい。

問 地域振興券というが、安  
くて魅力ある商品でなくて  
は消費意欲がおこらない。  
商店もサービスに励んでも  
らいたいが役場の指導は。  
町長 商工会等に5%還元  
セールス等の割引や、魅力  
ある商品を提供するように  
要請する。

# 謹賀新年

平成11年



## 町議会議員 新年の抱負を語る



小林隆芳 議員

平成11年の新春を迎えお慶び申し上げます。振り返れば早いもので、皆様方より多大なご支援を頂き当選させて頂き、来る4月で任期を務め、私は充実した議会活動が出来たと自負し、残りの任期を明るい豊かな町づくりに努力いたす所存です。御指導お願いします。



高尾活次 議員

新年おめでとうございます。耀かしい新春を迎えられお慶び申し上げます。昨今、経済不況と国政の昏迷ですが、吾が町は光っています。青少年のフットサル場、熟年は桂川公園にゲートボール場と21世紀は間近です。明るい町づくりをみんなで行いましょう。



高尾嘉一 議員

皆様新年おめでとうございます。私に残された任期も残り少なくなりましたが、予てより推進してきました「桂川公園」も年度末に完成致します。町民の皆様の憩の場として大いに利用されるものと期待しております。年頭に当り皆様の御多幸をお祈り致します。



永田富幸 議員

新年明けましておめでとうございます。月日の過ぎるのは早いもので、4年の議員任期も僅かとなりました。21世紀を目前にして変革が求められ、私達地域住民各自が町勢発展のため、意識を高め推進しなければならぬと思います。皆様のご健康をご祈念します。



牛田 茂 議員

町民各位におかれましては、輝かしい新年を迎えましては、誠に御同慶に存ずる次第であります。私達の任期も余す所数ヶ月となりました。町勢進展、住民福祉の向上を更に図ってまいれる所存でありますので、変わらざるご支援、ご協力をお願い致します。



滝口憲一 議員

新年明けましておめでとうございます。昨年不況から抜けきれず、また自治体の入札による不祥事が起こっております。私も常に自身を戒め町民の代弁に当り、町民福祉の向上のため全力を尽くします。今年こそ、皆様にとって良い年であります様にお祈り致します。



梅原啓一 議員

輝かしい新春を迎え、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。こんにちまでの4年間で振り返る時、長いようで短い歳月でありました。皆様方から信頼されての4年間であります。災害のない、町民皆様方のご健勝ご多幸を祈念申し上げます。



前田巳智男 議員

町民の皆様、新年をお慶び申し上げます。昨年は激動の暗い年でした。経済面も大不況の時代となり、都市銀行、証券会社をもなぎ倒す不良債権が金融システムを揺さぶっております。新しい年が国の様々な対策が功を奏して、より明るい年となる様祈っております。



小山忠男 議員

新年明けましておめでとうございます。昨年は経済界の危機やら凶悪事件やら何とも不安な年でした。景気回復が待たれる今日、我が町の発展を模索しつつ明け暮れている昨今です。今年こそ浮上の一步を踏み出せる年になって欲しいと思います。

# 介護保険事業、平成12年度より全国一斉スタート

平成11年1月より印鑑証明事務機械化・蚊とハエの一斉消毒を中止、希望制へ

## 平成10年度一般会計補正予算第4号

## 印鑑条例の一部改正

## 平成10年度 一般会計決算ほか 全議案を可決

### 12月定例会・連合審査会

問 社会福祉費、介護保険システム開発委託の内容は。住民福祉課 この制度は平成12年度より全国一斉にスタートし、システムの主なものは資格記録管理業務、保険税納付管理業務、受給者管理業務、給付実績管理業務を想定している。

問 歳入の公営住宅使用料が減額となった理由は。建設課 昨年度の国の基準変更に伴う使用料算定方法の見直しに伴い、平成10年4月より公営住宅使用料の改定が行なわれた。この結果、減収となったので減額補正とした。

問 道路橋りょう費、町道改修工事の一部に住民に提示してある工期より大幅に遅れている箇所があるが、どのような理由か。建設課 電柱移転など本体工事以外の部分で遅れが出たためである。

問 その様なことは工事中に事前に予想できたことである。当然工期はその点を踏まえて設定したはずで遅れた理由とはならない。住民は工期終了後、通常どおり使用できると思っている。工事が遅れることは住民生活に脅かす。

建設課 業者指導が甘かったと反省している。工期に余裕が出来るよう早めに工事を進める。「言われる前にやれ」モットウに業者指導と課内業務を進める。

### 工期中に完成するよう業者指導の徹底を

問 保健衛生費、蚊とハエの一斉消毒を、今年度に限って実施しないのは。

住民福祉課 従来の委託業者が機械の手配がつかず断ってきた。他の業者からも業務ができないと言われ、やむを得ず中止とした。

現状、住宅の近代化と水路整備が進み発生自体が減っている。今後希望制に切り替え、今回の補正予算に煙の消毒機1台、液の消毒機1台の購入費用を計上し、希望者に機械を貸し出すことと対処したい。

住民福祉課 従来印鑑登録業務の電算化により、手帳式の印鑑登録証を磁気カードへ変更するため、条例の一部を改正する。

問 来年度より実施される印鑑登録証の交換にあたって、他人の手に渡ることのないよう慎重に事務を進めていただきたい。

住民福祉課 窓口担当にはベテラン職員が従事し、また課員に対しても慎重に事務を進めるよう指示をした。

問 磁気カード型の印鑑登録証による印鑑証明書発行は、従来の手帳式とはどの点が異なるのか。

住民福祉課 電算化後は全登録者の印鑑登録原票の印影をあらかじめ機械に記憶させておく。磁気カード型の印鑑登録証を機械に差し込み、必要な情報出力させれば証明書が作成できる。

問 カードを持っていけば、本人でなくても交付を受けられるのか。

住民福祉課 今までもおりに交付される。

問 ガード紛失により他人が、登録者の知らないうちに証明書を受けるとの恐れは。

住民福祉課 交付の際には従来どおり窓口にて申請書に記載をしていただく。いずれにしても大切に保管しておくことが必要である。

住民福祉課

電算化後は全

# (調査) 下暮地内民有地の取得と倉見地内公共用地の貸出しは

## (結果) おおむね適正に処理されており、業者指導を徹底してほしい



購入予定の公共用地を視察する町議会議員

### 調査事項1 三ツ峠周辺整備事業に伴う用地取得について

調査事項1 三ツ峠周辺整備事業に伴う用地取得及び、調査事項2 倉見地内公共用地の貸出しは、おおむね適正に処理されていることを確認した。

委員より「会社に対して汚水を水路へ排水しないよう行政指導をお願いしたい。」との意見が出された。

企画振興課説明 購入予定地は下暮地入田地内で合計1千409㎡、購入目的は町道三ツ峠2号線の4mから7mへの拡幅、及び三ツ峠フットサル場等で使用する駐車場の整備を図る。  
問 7mに拡幅する場所は、企画振興課 購入する土地に隣接する町道を拡幅する。フットサル場前までの町道は既に7mに拡幅してあるので、続きを今回整備する。  
問 畑と雑種地で4筆あるが単価は異なるのか。

### 調査事項2 倉見地内公共用地の貸出しについて

企画振興課 それぞれ異なる。  
委員意見 将来を踏まえて土地の取得は良いと思う。

総務課説明 倉見上唐沢1380番地の1、町有地416坪の民間会社への貸出しについて、9月の定例会にて報告をした。その後契約を平成10年10月30日に締結した。契約期間は開始を平成10年11月1日とし、会計年度に合わせるため終了を平成14年3月31日までとした。  
水路について建設課と会社も交えて協議をし、水路を設置するという事で会社より借用地の水路設置届けを受け取り協議も整った。  
委員意見 会社では広い土地に製品を置いており、大雨の場合セメント交じりの排水が水路に流れ込まないよう、会社に対して行政指導をお願いしたい。



## 交通事故防止に向けて 飲酒運転の根絶を決議

### 町行政に運転手のモラル向上のため 必要な施策を講ずるよう要請する

### 飲酒運転の根絶に関する決議（抜粋）

山梨県における交通事故の発生状況は、恒常的な悪化傾向が続いている。特に県下においての飲酒に関わる交通死亡事故については、全体死亡事故の約4分の1を示しており、高い比率となっている。

我が西桂町は幹線道路である一般国道139号線をかかえ、恒常的な交通渋滞が発生している事は周知のとおりであり、運転者の過失は直ちに重大事故につながる潜在的な危険を内包している。このため道路施設の整備は重要な行政課題となっている。しかし交通事故を減らすためには、運転者のモラル向上が最も有効な手段である。ここに運転者の守らなくてはならない大切なモラルとして飲酒運転を行わないことを宣言し、全町民とともに飲酒運転の根絶にむけて取り組み、あわせて関係機関に対して飲酒運転の根絶に対する必要な施策を講ずるよう要請するものである。以上、決議する。

平成10年12月22日

西桂町議会

# 国庫補助事業を取り入れ

# 三ツ峠グリーンセンターの整備に取り組む

前田町長  
所信表明

## 12月定例会・本会議

12月定例会町議会の開会に

あたり、私の所信の一端を申し述べさせていただきます。政府の景気刺激策として、消費の喚起及び地域経済の活性化を目的とした2万円の地域振興券の交付事務が進められております。

国庫補助率100パーセントの事業で、当町においても実施に向けて、今定例会で条例案、予算案のご審議を願います。

私は、11年度の主要事業に、公共下水道事業及び三ツ峠周辺整備事業を含め、新年度の予算編成に取り組み所存であります。その中で事務事業を精査し、活活西桂の取り組みに生かしてまいりますので、ご指導をお願い申し上げます。

### 基盤整備について

下水道事業については、8月に西桂町公共下水道運営審議会に諮問し、12月1日付けをもって答申を受けました。受益者負担金及び使用料については、引き続き審議することとなり、排水設備工事資金の融資斡旋、水洗トイレ等改造奨励金、浄化槽設置に関する補助制度については、答申内容を尊重し、今後は条例及び規則等を徐々に整備し、下水道への加入促進に努めてまいります。

### ゴミ処理について

当町においては、排出量抑制のため、資源ゴミ回収リサイクル運動を進めており、大勢の町民の皆さんに御協力を頂いております。

また生ゴミについては、コンポスト補助金により対応しておりますが、さらに来年度から「家庭用電動生ゴミ処理機」購入補助制度の導入を考えております。

### 環境整備について

3ヶ年に及ぶ防犯灯設置事業を終え、各区のご協力に感謝し、今後はその成果の維持に努めてまいります。

住民窓口の電算処理業務のうち、印鑑証明の発行については、今定例会に条例の一部改正案を上程し、来年1月からは印鑑証明のカード化が実施できるよう取り組みんでおります。

### 福祉の充実について

●介護保険業務  
平成12年度から実施され

ますが、申請書の受付は平成11年10月からで、重要である審査会については、富

士吉田市を中心とした富士北麓広域圏の東部地区共同体で実施していこうと考え



### 注意事項

- 1 この登録証は、印鑑登録を受けている本人であることを証明するものですから、登録された印鑑とともに大切に保管してください。
- 2 印鑑登録証明書交付を本人又は代理人により受けるときは、必ずこの登録証を提示してください。登録印鑑及び委任状は必要ありません。
- 3 転出、死亡、氏名変更、登録廃止等の場合には、この登録証をお返しくしてください。
- 4 この登録証を紛失、盗難その他の事故が発生したときは、直ちに届け出てください。
- 5 このカードを折り曲げたり、磁気に近づけたりしないでください。

本人  
識別欄

西桂町

交換は済みましたか？ 印鑑登録証  
(左側：裏、右側：表)



下水道工事が進む柿園地区国道



完成間近、桂川公園



子供達に利用される三ツ峠フットサル場

10年度 主な  
予 算 計 上

地域振興券交付費として1千500人分、3千万円を予算計上

会 計 名	補 正 額	補正後の予算総額
<b>議案44 一般会計4号補正予算</b>	<b>1千825万9千円</b>	<b>19億6千414万9千円</b>
○町単道路整備事業 100万0千円 上町区要望、上町大神宮前里道の拡幅工事		
○介護保険システム開発委託料 800万0千円 システム開発により、平成12年度からの介護保険事務に支障のない体制作りを目指す。		
○人件費の追加 312万8千円 給与改定に伴い役場職員の人件費の追加		
<b>議案45 国民健康保険会計1号補正予算</b>	<b>545万6千円</b>	<b>2億9千096万3千円</b>
○国庫支出金返還金 501万4千円 平成9年度の医療費の確定に伴って、交付超過となった国庫負担金を返還する。		
<b>議案46 老人保健法会計1号補正予算</b>	<b>3千052万9千円</b>	<b>2億8千005万2千円</b>
○医療給付費の追加 2千854万9千円 70歳以上受給者の増加に伴って、また平成10年度医療費の支払実績の増加により、医療給付費が月平均220万円増の状況にある。		
<b>議案47 グリーンセンター会計2号補正予算</b>	<b>6万1千円</b>	<b>3千126万2千円</b>
○人件費の追加 6万1千円 給与改定に伴い役場職員の人件費の追加		
<b>議案48 簡易水道会計2号補正予算</b>	<b>696万4千円</b>	<b>7千702万5千円</b>
○水道改良費追加 746万4千円 職員給与改定に伴う人件費の追加、及び新高区配水池等の基本設計業務委託料の計上である。		
<b>議案49 下水道会計2号補正予算</b>	<b>6万7千円</b>	<b>3億0千458万8千円</b>
○人件費の追加 6万7千円 給与改定に伴い役場職員の人件費の追加		
<b>議案51 地域振興券交付事業特別会計当初予算</b>	<b>当初計上額</b>	<b>3千307万5千円</b>
○振興券交付費 3千000万0千円 想定交付対象者数1千500人、一人当たり交付額2万円		
○振興券交付事務費 307万5千円 振興券交付費の10分の1を計上。		

ております。ハード・ソフトの面において、来年10月に実施できるよう着々と準備を進めております。

●三ツ峠周辺整備事業  
レクリエーション施設造りを推進するため、平成10年度においては、三ツ峠フットサル場建設、第3回の植樹祭を行いました。

このうち三ツ峠フットサル場の利用状況については、10月の利用開始から現在までに時間に直して延べ140時間という利用がなされておりあります。また植樹祭は予定通り桜が植栽されました。この事業の推進については、関係者のご協力に感謝申し上げます。

三ツ峠グリーンセンターについては、施設の見直しと運営の改善を図るため、職員の検討会を設置し、また議会とも先進施設への視察研修を実施しました。ログハウス建設などの施設整備事業の財源については、山梨県とも協議を重ね、指導を受けるなかで、国の緊

急経済対策の一環としての農山村地域就業機会創出緊急特別対策事業の補助事業を検討いたしました。この補助事業は、体験施設等の設備を図り、地域住民と都市市民との交流を通じて、農業の活性化を図ることが目的であり、事業は5ヶ年計画でよいとのことであり、国のヒアリングを受け、事業認可の内定を受けたところであります。

●桂川公園建設  
町の整備事業として公園のより良い充実を図ってまいります。また倉見側から桂川公園につり橋を架ける件については、予定した用地が確保できました。関係地権者に感謝申し上げます。用地の埋め立て造成工事を発注したところであります。

**国際交流を検討**  
文化の香るまちづくりのため、住民レベルでの文化交流ができるよう、国際交流を視野に入れた友好都市作りを考えております。



## 町政を問う ここが聞きたい!!

### 問

### 介護保険制度の内容と 町の取組み状況は

### 答

### 認定審査会は市町村共同で実施 広報等で住民へ制度の周知



小山忠男 議員

### 問

我が国は欧米に比  
べ、高齢化が急速に  
進み、山梨県では人口の  
18・3%が65歳以上、全国  
平均は16・2%となってい  
る。今後高齢化社会の到来  
に対応するため、平成12年  
度に介護保険制度が実施さ  
れる事になり、介護保険制  
度とはどういう内容のもの  
か、西桂町での運営、試算、  
保険料負担の軽減策、また  
独自のサービス等、構想を  
お聞かせ願いたい。

### 町長

介護保険制度は平成  
12年度から開始され  
る。急速な高齢化の進展、  
寝たきりや痴呆性老人等の

高齢者の急増、家族の介護  
機能の変化などから、高齢  
者介護問題は老後の最大の  
不安要因となっている。

高齢者介護サービスにつ  
いて現行制度では、利用者  
がサービスを自由に選択で  
きない。また医療サービス  
が非効率に提供されている  
面があるなどの問題が指摘  
されている。介護保険制度  
は、これらの問題を解決し  
社会保険方式により、社会  
全体で介護を支える新たな  
仕組みとして、利用者の選  
択により保健・医療・福祉  
にわたる介護サービスが総  
合的に利用できるようにし  
ようとするものである。

介護認定審査会について  
は一市一町二村で組織する  
共同体での実施を考えてい  
る。また事業にかかる収支



デイサービスを受けられる町民の皆さん

予算計画について、概算で  
介護保険特別会計の初年度  
総予算は1億5千万円程に  
なるかと思っている。保険  
料負担軽減策については、  
保険料は40歳以上の人が支  
払うが、国の徴収基準によ  
り徴収し、国の軽減基準に  
よって軽減していこうと考  
えている。

台帳等作成に必要なソフ  
トウェアについては、今定  
例会の補正予算に計上した。  
要介護者把握については、  
現在実態調査により分析し

ている最中である。職員の  
確保等については、ニーズ  
を把握した中で実態に合わ  
せた職員採用を検討してい  
こうと考えている。

いずれにしてもまだまだ  
制度に不確定要素が多いた  
め、注意しながらも住民に  
制度の理解をしていただく  
ため、広報等を通じて周知  
するなどして事前準備を進  
める、制度がスムーズに実施  
できるようにしていこうと思  
っている。

### 審議案件

【同意】 1件  
同意5 固定資産評価審査委  
員選任につき同意を求める



渡辺和典 委員

【改訂】 5件

議案40 西桂町税条例の一部  
改正  
○準則の改正に伴い字句の前  
除及び追加を行なう。

議案41 西桂町職員給与条例  
の一部改正  
○人事院勧告に基づき県の指  
導により給与改正を行う。

議案42 職員の特務勤務手当  
に関する条例の一部改正  
○支給実態に合わせるため、条  
例の一部を削除する。

議案43 西桂町印鑑条例の一  
部改正  
議案50 西桂町地域振興券交  
付事業特別会計条例の制定

【補正予算】 6件  
○平成10年度補正予算、別記  
【当初予算】 1件

議案51 平成10年度西桂町地  
域振興券交付事業特別会計  
予算

【議員発議】 1件  
議案4 飲酒運転の根絶に関  
する決議

○審査の結果、陳情10を総務  
委員会で採択したため。

**林道建設・県道整備・  
国道バイパス計画の状況は**

**地元住民の理解を得て  
積極的に取り組みたい**

**問** 都留市大幡から三ツ峠を経由し富士吉田

市新倉に通ずる林道について、黒野田林道を延長して三ツ峠経由、西川新倉林道につなぐ林道を山梨県長期新設林道計画に組み込み、都留市、富士吉田市の協力を

を得て林道実現のお考えは。県道富士吉田西桂線について、地域の方々のご理解をお願いして、県道としてふさわしい改善建設に取り組みお考えは。

**町長** 現在、林道が一路線性化のため林道新設が必要であると判断し、国・県関係機関に協議・検討をお願いした。県では平成9年度に、富士吉田市・西桂町・都留市を結ぶ富士西部広域林道を山梨県地域森林計画書の見直しの際、計画に入れた。林道開設事業広域生活関連事業として、国・県への働きかけをし、早期着工できるように要望した。

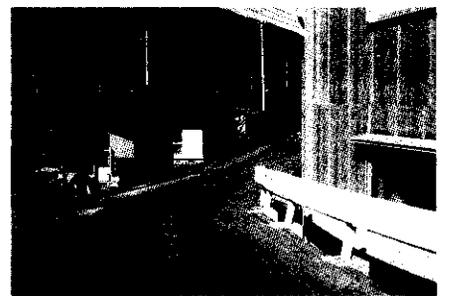
県道富士吉田西桂線は、山梨県都留土木事務所道路課において維持管理が行われている。5月27日、都留土木事務所長に、県道整備

のため陳情をした。都留土木事務所道路課に確認したところ、山梨県土木部道路建設課において、西桂地内を中心として、西桂町、富士吉田市を結ぶ新規県道ルート策定のための調査を現在行っているとのことである。国道の交通渋滞解消のため、県道富士吉田西桂線の整備は当町において最重

要課題であり、県道ルートの大部分を占める倉見区住民のご理解とご協力を得て、県道整備のため都留土木事務所に要請をしていく。三ツ峠山際をルートとする国道バイパス計画については、国において関係ルートの交通量調査等実施している」と聞いている。去る7月30日に建設省甲府工事事務所において、県及び関係市町が集まり、長期ビジョン計画等のヒヤリングを行ったところであり、私としても渋滞緩和施策の一環として関係市長とも十分な打合せをし、国への積極的な働きかけをしたい。

の整備は当町において最重

整備済みの県道富士吉田西桂線



整備が必要な倉見地内の県道

**問 国際交流の内容は**

**住民の国際交流は必要  
中国桂林市との交流を調査検討**

**答**

**問** 12月定例議会、町長の所信表明の中で、

国際交流を視野に入れた友好都市を持ちたいとのことのお考えを述べられたが、どのよ

うな抱負をお持ちか。

**町長** 国際的イベントや各種交流活動、姉妹都市交流などの活動が各自治体で行われているのも、国際性豊かな人づくりの推進であり、国際交流の場と機会の確保も必要と感ずる。

私としては、中華人民共和国の広西省桂林県桂林市と友好都市を結ぶ構想を持っている。桂のとりもつ縁・山紫水明・風光明媚等が理由である。市の概要は人口476万人、面積2万7千809平方km、気候は、温暖多湿で平均気温19度である。自然の景観は素晴らしいとの事である。色々検討して民間視察団を組織し、慎重に判断したい。

山梨県を始め、県下33市町村が海外との交流をしている。中国とは、県が四川省、15市町村が実施している。長期的な立場で国際交流計画を樹立し、教育・文化の交流、国際的視野にたつた青少年の交流、経済交流等を推進したい。

国際交流を視野に入れた友好都市を持ちたいとのことのお考えを述べられたが、どのよ

# 三ツ峠グリーンセンター 施設整備の内容は

## 平成10年度より国補事業にて 5か年計画で施設整備を実施



滝口憲一 議員



白州町、尾白の森名水公園の宿泊棟を視察

**問** 我が国の経済状況は長引く景気の低迷から今だ脱却できず、この様な厳しい経済情勢の中、観光産業の育成と都市と町村の住民間の交流を深め、町勢に活力をあたえるべく、

国の緊急経済対策補助事業である農山村地域就業機会創出緊急特別対策事業を取り入れ、ログハウス建設、体験施設整備等を5ヶ年で、

三ツ峠グリーンセンター周辺に計画すると表明をなされた。現在の不況下の各施設運営は、公営・民間を問わず大変厳しいものがあると言わざるを得ない。

この施設整備事業も甘い見通しの下で行なえば、事業に投入される貴重な町自主財源、施設の維持管理経費も後年度負担となる。この見地から国庫補助による三ツ峠グリーンセンター施設整備計画について伺う。

1、どのような事業目的をもって取り組むのか。

2、総事業費とその財源の提示、及び年度別の整備

計画の概要は。

3、現在の人員では対応できるのか、また一部民間も考えておるのか、施設整備後の運営形態については。

**町長** 第1の質問であるが、ログハウスを平成11年度に建設する予定で県関係機関と協議したところ、

国では、景気浮揚と雇用促進・安定を図るため、第3次補正予算を計上し地方自治体への公共事業補助を明確に打出し、グリーンセンター施設整備にこの補助事業が活用可能と県から聞き、町の自主財源を極力抑えられると判断し、早急に事務

手続を取るよう関係課に指示を出した。

平成10年度は国の第3次補正予算事業の山村振興等農林漁業特別対策事業により実施する計画を進め、第2に農山村地域就業機会創出緊急計画策定事業、第3に中山間地域活性化推進事業を取り入れて実施していく計画である。

平成11年度以降については

は、新山村振興等農林漁業特別対策事業を取り入れる計画で進め、平成14年度までの5年間で施設整備等を行う考えである。

次の総事業費と財源の提示及び年度別の整備計画の概要であるが、総事業費は平成10年度から平成14年度の5年間で約8億円を予定し、その財源は、国庫補助金は事業費の2分の1であり、残りを町債と一般財源で賄うが、国の地方債計画において地方自治体に負担をかけないよう、交付税措置されることである。

平成10年度においては、ログハウス4棟・体験学習棟・水車小屋・合併処理施設・公衆トイレなどを計画し、現段階では、約2億5千万円の事業費を県が認め

た。その財源は、国庫補助金1億円、残りの1億5千万円については補正予算債で充当し、この補正予算債は交付税措置が80%、1億2千万円が後年度に算入され、町の負担、一般財源は3千万円である。

平成12年度は、故高山良策氏の展示室及びギヤラリー並びに浴室などを整えた管理棟・駐車場などを計画し、平成13年度においては、用地取得及び既存の建物の

宿泊棟・研修棟についても、解体工事を計画している。平成14年度においては、口



明野村、太陽とふるさと村のキャビンを視察

# (調査) 県内のログハウスによる公営の集客施設の状況は

## (結果) 財源措置の検討、専門スタッフの育成、民間活力の導入が必要

三ツ峠グリーンセンター施設にログハウス建設のため先進地視察を実施、町長以下関係職員及び議会議員19名で3ヶ所を訪れた。

### 白州町

#### 尾白の森名水公園

山梨百名山の一つ甲斐駒ヶ岳、鋸山が聳え立つ麓に、

総面積15ヘクタールの広大な水の庭園、森の生態に入り込む散歩路、歴史を学ぶ展示室、森のレストラン、研修宿泊施設が完備し、水や森とのふれあいを通じて自然体験学習、レジャーが楽しめる自然公園としてすばらしい施設、交通の便も良く発展の夢は十分秘めていると思った。

### 明野村

#### あけの太陽とふるさと村

芽ヶ岳山麓の西南斜面に建設、心と身体の養生ゾーンの保養施設、食と健康ゾーンの薬膳料理のレストラン、ハーブスタンド、体験宿泊施設とオートキャンプ場を併える。

国の施策によって総事業

費20数億円の90%国庫補助、温泉地下1千500メートル掘削、湯温58度、毎分250立方メートル湧出、建設はログハウス、カナダ方式直輸入40棟、20人以上収容、またパークゴルフも完備のすばらしい施設である。

### 都留市

#### 宝の山ふれあいの里

都留市宝大幡山の傾斜地に、山村振興農林魚業対策事業として、豊かな山麓の自然を活用し地域の振興発展を図ることを目的に都留いきものふれあいの里、管理売店棟とグリーンロッジで宿泊は6棟、付属施設3棟、芝生広場2面の施設よりなる。

スイスの山小屋のイメージで快適なアウトドアライフが体験できる施設である。総事業費は2億数千万円。感想 賢い財源措置、施設運営上の専門スタッフ、第3セクター及び民間の参加活用等が、将来必要になるだろうと感じた。(小山委員)

グハウス2次整備及び駐車場・モニメント等を計画している。

次に、一部民間委託を考えているかの質問は、そば体験・手織り体験・農産物加工施設・農産物直売所・農産物特産品開発・木工教室などあらゆる農林業振興施策に取組んでいきたいので、現在の職員3名での管理運営は無理と判断し、一部民間活力を導入しなければ成り立たないと考える。農家及び農業団体、並びに

各種団体等とも相談して施設の運営を図りたい。

### 問

10年度は国の緊急経済対策事業という、国が大幅な国債を発行して緊急に補助金をくれるというのである。しかし以降の年度事業に対して同じような補助金がもらえるのか、またもらえないのか。

### 町長

平成12年度以後について県の話では、農業関係の事業であるので補助金が今までどおり付くのではないかとっており、

付かない場合は平成10年度の単年度事業で2億5千万円かけた部分だけでも実施していきたい。それ以降は有利な補助、起債がなければいけないということをご理解いただきたい。

### 問

11月16日、先進地の施設を見てきたが、立派な施設を持つ町村でも、採算的な面で一般会計から補填をしなければ運営出来ないという事であり、西桂でもその可能性が十分にある。だから民間の力を借りアルバイトを使いながら、なるべくグリーンセンターの職員3名にがんばってもらい当初はやっていくくらいの気持ちが良い。

### 町長

農業関係団体が非常に力を入れており、張り合いと夢を持って各種団体の人にも手伝っていただき、人件費は出来るだけ抑えていきたい。またグリーンセンター周辺整備が進み、またフットサル場の活用が図られるので、利用者も今まで以上になると思う。

木工教室に参加、農業団体の皆さん

# 答 問

## 白山河川整備、厄神川整備、松久保地区防災工事の今後は

## いずれも整備が必要 県事業として実施するよう要請



牛田 茂 議員

**問** 災害対策事業3点の質問をする。

まず白山河川事業については、準用河川白山川としては、認められ、災害対策として完成される所であり、東京電力敷地内工事を残すのみとなっている。この部分については、継続事業として着工予定は明示されておるのか、またその上流部に堰堤が整備されたが、流木留め設置について上部機関への働きかけも必要ではないか。ご所見をお伺いする。

大月林務事務所において地域総合防災対策事業により

次に、厄神川上流の山頂は現在も崩壊が続いており、対策を講ずるべきと思うがいかがか。

5月27日に都留土木事務所長にお会いしてお願いしたところ、何回か調査をする中で、急傾斜地崩壊対策事業として、国・県の事業として採択の基準に適合しないのでご理解をお願いしたいとのご返事であった。

最後に、松久保地域は土砂災害危険区域として認定されており、都留土木事務所に防災工事を再三お願いしているが、対策がなされない現状である。台風及び長雨が続きと相当量の水及び土砂の流出が見られ、今後の対策について伺う。

あなたのご質問は採択となりました

町長 まず、準用河川白山川上流については、



白山河川の県工事現場

厄神川堰堤付近の県工事現場

### 町長

まず、準用河川白山川上流については、

最後に、松久保地域の土砂災害危険対策については、

陳情17 「盗聴法」制定に反対する意見書提出の陳情

# 学童の通学路確保のため 早期につり橋建設を

## 平成12年度に つり橋建設を計画

問

答

問

桂川公園を經由した  
小学校への登下校の  
通学路は利用度が多いと思

う。そこで倉見地区よりの  
つり橋の早期着工をお願い  
してきた。今回、つり橋と  
駐車場のための関連用地も  
地権者のご理解のもと取得  
された。町は造成工事後地  
盤安定後着工したい旨で  
あるが、造成方法によつて  
は早期着工も可能である。  
現在その付近の交通量は  
日ごとに多くなって、学童  
の通学時の事故が心配であ

る。今後下水道工事が町の  
中心部入ると更に通学路が  
危険になる。早期につり橋  
が完成され、対岸に渡り公  
園を經由した通学路の確保  
が急務である。

町長

倉見側駐車場及びつ  
り橋の早期完成のため  
の用地取得は、関係地権  
者全員のご協力を得ること  
ができた。以前は平成10年  
度から3カ年度に渡り造成  
工事を施工、平成13年度以  
降につり橋の建設事業に取  
り組む予定であった。しか  
し用地確保ができ、つり橋  
建設を早期に望む声が多い  
ことを踏まえ、また財政状  
況をも考慮し、平成12年度  
には、予算計上いたす考え  
である。このため取得用地  
は、今年度より埋立を始め  
ている。駐車場用地の土地  
基盤安定は来年度ではまだ  
であるが、設計等は来年度  
発注していかなければなら  
ないかと考えている。

議員さんと視察して、ど  
のような橋が良いのか検討  
して決めていきたい。

問

### 町の防災資器材及び 生活物資のさらなる整備は

### 断水に備えペットボトルの備蓄 役場庁舎へ非常用発電機の設置

答

問

災害は忘れた頃に来  
ると言われているが、  
防災対策は万全かどうか。

町長

当町では昨年度「西  
桂町地域防災計画」  
を改定した。この計画書は、  
災害対策基本法並びに大規  
模地震対策特別措置法の改  
定により、山梨県地域防災  
計画及び県が実施した地震  
被害想定調査等を踏まえる  
とともに、阪神淡路大震災  
の震度を想定したものであ  
り、当町の総合的な災害対  
策の基本として、災害に強  
い安全な地域社会づくり、  
発生時の迅速かつ適切な応  
急対策の実施に大きな役割

を果たすものである。  
ご質問の防災資器材及び  
生活物資のさらなる整備計  
画であるが、現在上町公民  
館地下倉庫を防災倉庫に位  
置づけ、日本赤十字社の毛  
布及び生活用品を備蓄して  
いるが十分な量とは言えず、  
今後も日本赤十字社に要望  
をしていきたい。また町で  
は、県防災資器材補助金等  
を活用し、トイレ・諸備品  
の備蓄を考えている。  
次にライフライン、電気  
等の不通に伴う対策は、水  
道ポンプの停電による断水  
については、ペットボトル  
の備蓄及び、主食・非常用食  
糧の確保についても製造業  
者と今後覚書を交わし、災  
害時に優先的に町に納品す  
る契約を交わしたい。また  
各家庭での炊飯器の使用不  
能に伴う炊き出しは、現在  
日赤仕様の1000人用防災  
釜を7セット備蓄している。  
また、今後、防災発生時  
の災害対策本部となる、役  
場庁舎への非常用発電機等  
を整備していきたい。



上町公民館地下の町と区の防災倉庫

### 12月定例会日程

8日議会運営委員会

◇運営方法決定

◇陳情処理確認

15日全員協議会

◇議会運営確認

◇議会録署名議員指名

◇会期の決定

◇町長所信表明

◇町長議案一括上程  
(議案40、49)

◇一括説明・一括質疑  
各常任委員会付託

◇休会議決

◇本会議散会

◇連合審査会

◇付託議案審査  
総務委員会

◇所管事務調査

◇陳情案件審査  
(陳情10)

22日全員協議会

◇議会運営確認

◇本会議再開

◇会期中の委員会事務調  
査報告(総務委員会)

◇付託議案総務委員長報  
告(議案40、47)

◇一括質疑・討論・採決

◇付託議案建設文教委員  
長報告(議案48、49)

◇一括質疑・討論・採決

◇町長議案追加上程

◇※14ページへ続く

西桂ミニバス  
スポーツ少年団



選手、指導者、保護者のみなさん

問 参加者と活動日、練習会場を教えてください。

代表 西桂小学校の女子児童の3年生から6年生までの22名が参加しています。

練習会場は小学校体育館で、練習日は毎週木曜日の夜が6時半から2時間、土曜日の2時間は、他団体との時間調整の上、時間をさめています。週2日活動しています。

問 どのような活動をしていますか。

代表 第1に礼儀正しい子供を作ること、第2に体力作り、第3バスケットボールの基本プレイの習得。主に基礎中心にやっています。

問 今後の目標について教えてください。

代表 県大会で一勝が目標になっていますが、成績よりは調和のとれたチームづくりを目指そうと思います。

問 指導者と保護者の組織の状況は。

代表 保護者会は児童の父兄で組織され、正副会長、会計、若干の役員がおり、



対外試合に参加、ミニバスのみなさん

試合の際の送迎、レクレーションの準備に関わります。

指導者は男性4人の女性2名、現在6名体制です。

問 町の行政と町民に望むことは。

代表 練習会場を確保し、週の練習をあと1日増やしたい。中学生用リングに小学生用の低いリングを整備していただければ、中学校体育館を使用できます。

もう一つ小学校体育館の床は滑るのです。子供達のひざに負担がかかります。

その辺の善処を。

問 他の市町村は、滑らないのですか。

代表 滑らないです。それが基本ですから。西桂小の

体育館は練習試合の会場としては、滑って危ないと思います。

問 町では近い将来、建てかえず計画もありますか。

代表 私共の希望ですが、1面だけでは予選会等の運営が出来ないのです。2面取れる体育館が理想です。

現状、床の問題と1面のため西桂が会場になることはありませんでした。

会長 練習試合をもっと経験させてあげたいのですが、現状では他市町村のチームより声がかからないと試合が出来ないです。

問 議会広報を読んでおられますか。

会長 議会広報を読みませ

※13ページの続き

(同意5)

説明・質疑・討論・採決

◇議員発議上程(発議4)

説明・質疑・討論・採決

◇町長議案追加上程

(議案50、51)

一括説明・質疑

総務委員会付託

本会議休憩

連合審査会

◇付託議案審査

本会議再開

◇付託議案総務委員長報告(議案50、51)

一括質疑・討論・採決

◇一般質問(小山議員、滝口議員、牛田議員)

◇閉会中の委員会継続調査議決(総務委員会・建設文教委員会・議会運営委員会・議会広報編集委員会)

本会議閉会

んと行政の流れが分かりませんので、読ませていただいています。

代表 議会のあつた後で発行されます議会広報の質疑の部分は見ます。

指導者代表

(代表) 武藤隆義

保護者会会長

(会長) 菅谷喜晴

# 町民のひろば



## たのしみな祭りの風景

(その5)

### 下暮地の祭りといひみこし

町文化協会長 前田巳智男氏

#### 下暮地のお祭り

下暮地地区の祭りは昔から主に春祭りといひ秋祭りが行われてきた。

春祭りは山祇神社、祭神は大山祇命(木花開邪姫命の父親)、例祭は4月17日であったが、戦時中町内統一され4月15日に変更された。かつてはこの地域の住民の生活に関わりの深かった。

た山仕事の無事を願って、近郷近在の住民の信仰が厚い神社であった。例祭日には、明治23年と昭和13年に作り替えられた大人みこしの巡行、お神楽の奉納が行われてきた。地区の本祭りであり外部からのお客の行き来もあり、露店も数店出店の賑わいであった。

秋祭りは浅間(祭神、木花開邪姫命)と諏訪(祭神、建御名方命)が祀られる浅間諏訪神社で、古くから村人の信仰を集めて行われてきた。明治4年桂村(東西桂)の郷社に列格され、戦前は小学校全校児童等が年3回位、式に参列した。例祭は9月15日で、地区の青年により多数の灯籠が参道に掲げられた。

他に初祭りとしての賽の神祭、戦前まで7月15日天王祭が行われた。地区の中央の道端に柱を立て、杉葉を用いて飾り、高い処に棚を作り、新しく木づくりの社を設け、牛頭天王を祭り、農家ではインゲン、き



元気にかつぐ下暮地の子供達

ゆうり等野菜の初物を供えた。祭りが済むと社を棒で叩き潰し、子供達がゴツゴツ天王と叫び社の木片を鳴らしながら、地区を一巡して束ねて郷社に納めた。これは災いや疫病神を空に帰するための祭りと考えられる。

#### 子供みこしづくり

平成元年、地区青年有志が発案し、子供達に楽しい

思い出を創ってもらうため、子供みこしを作ることを決めた。地区内から寄付金を募った。地区内の協力により

多額の寄付金が集まり、みこし代、はつび、みこし庫代等126万円を投じて立派な子供みこしが実現した。同年6月4日みこしの渡御披露を行なった。以後毎年9月15日午後からはつびを着用した小学生以下の子供

達に父兄が同伴し地区内を一巡して祭りを盛り上げている。

募金の残金を基に子供みこしを中心にして、大人も交流出来るふるさとを創るための一助としてお祭り広場を開くことを相談し、平成元年より10年間、年と共に賑やかさを増し、女性も交え50人からの子供みこし会の皆様により運営され、カラオケ大会、焼き鳥、やさそば、ゲーム等20商品以上の品物を10店以上の出店が並び、午後5時から秋祭りの一夜を楽しんでいる。

子供みこしが、村づくりの一助となった。

#### ▼ 下暮地のまつりにすごい人出



# 議会のうごき

10月

14日○議会広報編集委員会

(委員・編集会議)

20日○出納例月検査

(前田議員)

23日○議会広報編集委員会

(委員・校正会議)

29日○町農業委員会

(滝口議員)

11月

3日○町民文化祭(全議員)

4日○健康づくりの集い

(全議員)

20日○富士五湖広域火葬場

建設起工式(副議長・

広域組合議員)

26日○町農業委員会

(滝口議員)

27日○下水道審議会

(審議会議員)

29日○桜の里づくり植栽祭

(全議員)

12月

16日○出納例月検査



11月4日、健康づくりの集い・ウォーキング



11月29日、植樹祭開会式



新春1月1日、神社初詣マラソン

24日○議会広報編集委員会

(議長・委員・企画

会議)

25日○町農業委員会

(滝口議員)

99・1月

1日○初詣マラソン(議長)

8日○議会広報編集委員会

(議長・委員・編集

会議)

10日○消防団初出式

(正副議長・消防委員・

広域組合議員)

15日○成人式(全議員)

## 任期最後の編集を終えて



左側より前田委員、梅原委員、高尾委員長、小山副委員長、小林委員

編集委員長 高尾 浩式  
副委員長 小山 忠男  
委員 前田巳智男  
委員 梅原 啓一  
委員 小林 隆芳

執行部も町長の企業的経営感覚の指導を忠実に守り、企画立案している。



1月15日、成人式にて

願みれば任期もまもなく終了する。平成7年就任、前田町長誕生、新執行部のもと活・活西桂町づくり推進に邁進すると宣言した。着々と町民の教育文化福祉各部門の特に政策には細心の配慮で行政を執行されている。議会でも是非々々でバックアップしている。

特に議会広報は情報公開の原則にそって努力してきた。前号までに、いきいき健康福祉センター、桂川公園、上下水道改修着工、五湖消防分遣所、憩いの森、桜の里、ミニサッカー場、庁舎内事務迅速サービスのため自動化、議会広報委員会の条例化等を取り上げた。